

「近江の茶」ミシガンプロモーションについて

1 プロモーションの概要

- 日時 平成 29 年 11 月 1 日 (水) ～5 日 (日)
- 訪問先 アメリカ合衆国 ミシガン州デトロイト市等
- 内容 現地小売店、日本茶取扱いカフェ訪問
 「近江の茶」商談会
 デトロイト美術館 日本ギャラリーオープニングイベントでの「近江の茶」PR
 (茶の試飲、茶の淹れ方と 3 種の茶飲み比べワークショップ)
- 参加者 近江の茶生産者 4 名、茶商 5 名、茶業会議所 2 名、県 3 名
 ※ジェトロ滋賀貿易情報センター、シカゴ事務所の協力・支援

<ミシガンでの「近江の茶」プロモーションの背景>

- ・日本茶の国内での需要減少を受け、海外に新たな販路を開拓する必要性。
- ・「滋賀県農畜水産物輸出戦略」で「近江の茶」を重点品目の一つに位置づけ、その販路の重点国がアメリカ。
- ・平成 30 年で滋賀県とミシガン州が姉妹提携 50 周年。
- ・平成 29 年 11 月にミシガン州のデトロイト美術館「日本ギャラリー」がオープンし、関連イベント Japan Cultural Days (JCD) を開催。

【参考】平成 29 年 9 月 8 日にミシガン州知事の滋賀県来訪の際、甲賀を視察コースに入れ、滋賀県と茶業会議所が「近江の茶」でおもてなし。

2 現地行程と内容

月日	場所	行事等	内容
11/1 (水)	州内各所	日本茶取扱い小売店視察	日本食品取扱いスーパー、オーガニック系スーパー、高級スーパー等
同 夕方	デトロイト 総領事公邸	総領事公邸歓迎レセプション	「近江の茶」を使ったスイーツと水出し煎茶の提供
11/2 (木)	州内各所	日本茶取扱いカフェ等視察	茶専門カフェ兼小売店等
	デトロイト、 美術館	日本ギャラリーオープニング記念 レセプション	近江米「みずかがみ」の提供
11/3 (金)	デトロイト近郊 ホテル	「近江の茶」商談会 (商談相手: 現地小売店、バイヤー、 カフェオーナーなど)	会食形式で、茶を使ったスイーツや飲料の試食・試飲 (商談件数 38 件、うち継続 14 件)
同 夕方	デトロイト 美術館	ナイトイベントでの茶の 試飲提供	煎茶、かぶせ茶、ほうじ茶の試飲提供
11/4 (木) -11/5 (金)	デトロイト 美術館	JCD (記念イベント) での試飲・ ワークショップ	お茶の試飲 (2,000 杯以上提供) お茶の淹れ方教室、3 種のお茶 (煎茶・ほうじ茶・紅茶) 飲み比べ

3 参加者・現地の感想

<参加事業者>

- ・商談会参加者、イベント来訪者の商品評価は良かったように思われる。
- ・お茶シロップやお茶ミックス、変わったパッケージのものなど、一味違う商品にバイヤーが注目。
- ・有機栽培茶の強みを感じた。お茶のストーリーや歴史をしっかりと作り込むと面白い。現地ではカフェインレス茶が日本以上に注目されており、健康面や機能面でのPRが必要だと感じた。
- ・業務用として入り込むことは難しくないので感じた。スーパーでは価格が安いので無理してそこを狙いに行くのか検討。
- ・本格的な日本茶がアメリカ人にこんなに好まれるとは思っておらず驚いた。

<現地の商談相手・イベント来訪者>

- ・日本茶がこんなに甘くておいしいとは初めて知った。(意見多数)
- ・色が薄いのが、飲んだら味わいが深く驚いた。(深蒸し茶でないので色は薄い)
- ・ほうじ茶の香りがよく、飲みやすい。
- ・茶の動画がすばらしい。知識が大変深まった。
- ・近江の茶をぜひ買いたい。どこで買えるのか知りたい。(煎茶、粉末茶等)
- ・小売事業者から、今後滋賀の物産展ができないかという提案あり。

※商談相手・イベント来訪者へのアンケート結果については、現在取りまとめ中。

4 今後の取組方向

- ・ジェットロ等とも連携し、今後も参加事業者へのフォローを継続して行っていく。
(12/6(水)に報告会とセミナーを実施、12/22(金)に個別相談会を実施予定)
- ・今回の成果を生かし、平成30年度の滋賀県—ミシガン州姉妹提携50周年に合わせて、「近江の茶」を突破口にアメリカで滋賀への関心を高めながら、ジェットロ滋賀貿易情報センターと連携して、現地でのプロモーションと商談機会の充実を図り、県産食材や食品の販路開拓を検討。
- ・今後は、本来のお茶のおいしさを知ってもらいながら、健康面・機能面にも着目した販売戦略等を検討する。